

時代と対話する1時間

ワン・アワー

one hour

東洋経済新報社 × 現場のリアル
ブランドスタジオ

コロナ禍が働き方を見直すきっかけに
経営業務の生産性向上は
ITツールやSNSの活用がカギ



2021年度グッドデザイン賞

持ち手がなくて使いやすい
スルンと皮がむけるピーラー

ピールアピール

ベジタブルユニークピーラー

株式会社ススキ

おかげさまで120周年

DAIDO 大同生命



2022

6



子どもたちが変われば、地域の未来が変わる。

教育が変われば子どもたちが変わる。

代表取締役社長
松井正之 Masayuki Matsui

1947年、岡山県備前市生まれ。瀬戸内海、日生(ひなせ)諸島の最南部の島、大多府(おおたふ)で生をうけ、中学生の頃から家業である海運業を手伝い始める。高校時代から実質的な従業員として携わり、日本大学卒業後の'70年、父が創業した松井汽船株式会社へ正式に入社する。'73年、新たに設立した日松汽船株式会社の専務取締役に就任し、'85年に日松汽船株式会社を受け継いで代表取締役となる(現職)。また'84年から'87年まで備前青年会議所理事長を務め、当時の青年会議所の有志と'88年に株式会社ラインズオカヤマを設立、取締役に就任する。2010年、代表取締役社長に就任する。

注目の企業に学ぶ

株式会社ラインズオカヤマ

企業 DATA

本社 岡山県備前市伊部1722-1
創業 1988年(昭和63年)
事業内容 システムインテグレーション
サービス、コンピュータおよび周辺機器並びにサプライ用品・什器・備品の販売、ネットワーク設計・構築、ソフトウェア開発、ハードウェアの保守サービス、コンピュータ設置及び付帯工事 等

Webサイト <http://www.lines.co.jp>

one hour

ワン・アワー 6月号

c o n t e n t s

P1 注目の企業に学ぶ

株式会社ラインズオカヤマ

教育現場のICTをサポートする
“人のぬくもり”があるIT企業。

P5 経済ジャーナリスト川島睦保が切り込む 現場のリアル

iU情報経営イノベーション専門職大学教授 久米信行

Interview

コロナ禍が働き方を見直すきっかけに
経營業務の生産性向上は
ITツールやSNSの活用がカギ

P8 Essence 論語と算盤

Vol.23

「信じた道を猛進し失敗を恐れるな」

新たな気持ちで新たな気力を生み出す。
その気力を何事にもひるまぬ勇氣に…。

P9 健康経営の実学

三進金属工業株式会社

企業の成長は従業員の成長なくしてあり得ない。
その成長を左右する要素の一つが“健康”です。

P11 カルテの余白

国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科長 渡辺俊一

わずかな手元の乱れが命にかかわる…。
常に高リスクの難手術に挑む呼吸器外科医。

P13 経営のヒント

ビジネスマッチング編

これからの事業を切り拓くために、
営業活動にもオンラインマッチングを!

P14 cover story 匠の結晶

「ピールアピール ベジタブルユニークピーラー」

株式会社スズキ

持ち手がなくて使いやすい
スルンと皮がむけるピーラー。

ラインズオカヤマのテーマは、情報技術を使って「まなぶ」と「はたらく」を楽しむこと。
教育現場を中心に官公庁や民間企業のICT化^{*1}を支援し、導入後の課題解決まで全力でサポートする
「人のぬくもりを感じられる、優しく易しいIT企業」です。「利益よりも大切にしたいものがある」と、
次世代を担う子どもの未来を案じてきた松井正之社長にお話を伺いました。

聞き手：村田弘美（大同生命保険株式会社 岡山支社）



地域の子どもたちの未来を変えたい。

当社の主な仕事は、パソコンやタブレット端末、ソフトウェアを販売し、ネットワークやインターネット環境を整え、導入したシステムを活用していただけるようにサポートすることです。ただ、一般的なシステム会社と大きく異なる点があります。それは、お客さまのほとんどが公立・私立の小・中学校・大学など、教育機関であることです。

もともと当社は、34年前に「ラインズ」という名の教育ソフトを地元地域に普及させることを目的に設立した会社でした。eラーニング^{*2}という考え方が注目され始めた頃で「それに

よって教育の地域格差が解消されるのではないか。備前市の未来のために子どもたちの学習環境を変えよう。学力を向上させよう」と、私を含め、備前青年会議所（JC）で活動をともしにしていた有志3人が中心になって始めた事業です。皆、それぞれに本業がありましたが、収益は二の次でよかった。とにかく「地域の子どもたちのために」と、ただそれだけを考えてのスタートでした。

当時はまだバブル経済の末期でしたが、今とは比べ物にならないほどに高額だったパソコンは、一般には全くといっていいほど普及していませんでした。「国語、算数（数学）、理科、社会のドリル教材が、パソコン1台に何百冊分も入っています。自宅で、自分のペースで、時間を問わず勉強できます」といっても、パソコンが50万、通信モデムが10万、ソフトが10万、一式70万円のシステムが簡単に売れるはずもありません。それでも我々の意図を知るJCのメンバーが購入してくれ、

何とか先をつないでいました。

しかし、収益は二の次とはいえビジネスはビジネスです。企業として存続できなければ、どんなに高尚な理想を掲げてても無意味です。そこで、設立から約半年後に入社した高橋（現・取締役統括本部長）が、家庭向けだけでなく、学習塾や学校、教育委員会、市町村役場へと営業範囲を広げ、可能性を模索していきました。

それでも事業として回り出すまでには、相当な年月が必要でした。私が役員賞与を受け取れるようになったのも4、5年ほど前からでしょうか。

一つの転機は2017年に「教育セミナーinおかやま」を開催できたことです。それまで東京や大阪などの大都市でしか開催されていなかった教育関係者向けのICTセミナーの主催団体の方々に、岡山で開催する意義をご理解していただけたのです。

専門家の方々による、教育のデジタル化の現状や今後の課題、これからの教育の在り方などをテーマとした講

に」との想いを強められておられるように思います。

報道などでは、教育現場での感染予防の観点から「オンライン授業のためのICT化」に注目が集まりましたが、それはあくまでも教育ICTのメリットの一つに過ぎません。本質的な価値はリアルな教室の中にもあるのです。

例えば従来の授業では挙手して発言が認められるか、あるいは黒板に書かなければ、その子の考えは先生にもほかの子たちにも伝わりませんでした。しかし、電子黒板やタブレット端末を活用すれば、誰が何をどう考えているのか教室の全員が共有できます。引込み思案な子の能力や努力を先生が見逃してしまうことも減りますし、児童・生徒同士のグループ学習や議論の場で、声の大小に関係なく「みんなの声」が反映されやすくなります。変化は教室内だけにどまりません。単純に、備前の子とオーストラリアの子がジャンケンして遊ぶことだってできるのです。きつと目の前の世界の見方を変える子も、今より広い世界に目を向ける子も出てくることでしょう。

もちろんメリットがあればデメリットもあります。大きいのは「個々の先

生のICT活用法の差で、授業内容にも差が出てしまうのではないか」という懸念です。そもそも学校の先生にITスキルを求めること自体が今までになかったことで、極端に言えばデジタルという言葉を耳にしただけで拒絶してしまう先生もいらつしやいます。そのような「教室格差」が生じないように、先生をサポートするのも当社の役目。ある意味、私どもはIT企業ではありません。「子どもたちの未来を考えた先に、たまたまITがあったから」という会社です。

ですから先生のサポートをするにあたって、専門用語は最低限しか使いません。先生が「難しい」と苦手意識を持たれたら、子どもたちのためにもならないからです。

扱う教材はデジタルでも、人へのアプローチをアナログに徹する。その姿勢は、結果的に教育現場以外でも活かされました。民間企業や福祉施設、介護施設など、様々なお客さまから「IT屋さんじゃなくて、何でも屋さん」と親近感を持っていただけ、実に多様な相談事をされています。「パソコンのウイルスだけじゃなくコロナのウイルスもなんとかして」と頼まれて、微酸性次亜塩素酸水の生成装置も販売しましたし、介護用の特殊な



演やパネルディスカッション。実際に教鞭をとっておられる先生によるICT実践方法や成功事例報告。各種企業さまによる学習用デジタル機器の展示説明会など。どのプログラムも熱気にあふれ、私は「教育の現場でもICTは確実に求められている。ただ、今まで情報が不足していたのだ」と肌で感じました。

コロナの影響で一昨年はオンライン

浴槽や、ピザ窯を相談されたこともあります（笑）。

今、私個人としては「入院中の子どもたちに教育を無償提供できないか」という次の夢を抱いているのですが、その根底にあるのも、この備前市を人口減少の時代にあっても「若者が残ってくれる地域」にしたいという想い。そのためにも、まずは子どもたちが楽しく学べる環境を提供し、大きな夢を抱けるようにしてあげたいのです。■



この「教育セミナーinおかやま」が成功している背景には、間違いなく2019年度から文部科学省が推進している「GIGAスクール構想^{*3}」があります。また、それに加えて昨今のコロナ禍の影響があったと思います。ご来場される方の中には、もしかすると当初は「国の方針だから」「予算がついたから」と事務的に参加されただけの人もいらつしたかもしれません。それでも教育ICTのことを知れば知るほど、皆さん一様に「子どもたちのため

に」との想いを強められておられるように思います。

*1 IT（情報技術）がハードウェアやアプリケーション、OA機器、インターネットやインフラなど、情報を処理する技術の総称であるのに対し、ICT（情報通信技術）はITを活用した「コミュニケーション」を意味する。IoTとは、人を介さず様々なモノがインターネットにつながる技術のこと。
*2 eラーニングとは「電子機器とインターネットを活用した教育手法」で教材コンテンツとLMS（学習管理システム）で構成される。日本では2000年代から普及し始めた。
*3 GIGAスクール構想とは、全国の児童・生徒1人に1台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。当初、2019年度から5年をかけて順次ハード環境を整備する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてオンラインを活用した授業や学習への必要性が高まり、端末導入のスケジュールが大幅に前倒しされた。



写真右から和田敬正総務部長、高橋恵取締役統括本部長、松井正之代表取締役社長、大同生命 村田弘美。

コロナ禍が働き方を見直すきっかけに 経營業務の生産性向上は ITツールやSNSの活用がカギ

iU情報経営イノベーション専門職大学 教授

久米信行 Nobuyuki Kume

1963年東京都墨田区生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。イマジニア、日興証券勤務を経て、'94年に家業である久米繊維工業株式会社の代表取締役役に就任(現相談役)。日経インターネットアワード、経済産業省「IT経営百選」、東京商工会議所「勇気ある経営大賞」特別賞を受賞。2010年のAPEC中小企業サミットでは日本代表としてスピーチを行なった。東京商工会議所墨田支部副会長、墨田区観光協会理事等の地域振興活動にも熱心に取り組む。「『すぐやる!』技術」「仕事と人生が同時に上手にいく人の習慣」など著書多数。

「大同生命サーベイ」の調査テーマ
コロナ禍における「経営者の労働実態」
を専門家の視点から深掘りしていただきました!



▼コロナ禍前後で、中小企業経営者の業務にどのような変化がありましたか。

政府が掲げる「働き方改革」や新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中小企業の従業員の労働環境には大きな変化が生じている。一方で経営者自身の労働実態はどうか。効率化を求める社会の動きがある中、もちろん経営者自身はそうはいかない場面があることだろう。本社従業員10名程度の中小企業経営者の経験を持ち、現在も中小企業経営者との交流機会を多く持つ久米信行氏に、コロナ禍で経営者の働き方はどう変わったのか、また今後どう変えていけばいいかを尋ねた。

聞き手…経済ジャーナリスト 川島睦保(元週刊東洋経済編集長)

▼商談や打ち合わせのオンライン化は、中小企業経営者にとってどのようなメリット、デメリットがあったのでしょうか。

まずメリットとしては、移動の時間がなくなり、営業活動が効率的に行なえるようになったことが挙げられます。

また1回の商談が短くなったという話もよく聞きます。対面だとしても最初は世間話から入ることに なりますが、リモートの場合は簡単な挨拶を済ませたら「では早速、本題に」となるからです。

商談の実施ハードルが下がった分、頻度が増えて、コロナ禍以前よりも相手の動向がよくわかるようになったというケースもあるようです。

反面デメリットとして、働きすぎになった経営者もしばしば見受けられました。オンライン会議だと、間隔を

一番の大きな変化は、リアルでの打ち合わせや商談ができなくなり、ほとんどがオンライン会議に移行したことです。私の地元の商工会議所や商工会などの会合も、2020年の緊急事態宣言以降はほぼ、オンライン会議になりました。

リアルとはだいぶ勝手が違うため、当初は苦労された方も多かったようです。中小企業の経営者とオンライン会議をしていると、「これはどうすればいいんだ?」と周囲に尋ねる声がよく聞こえてきたものでした。

コロナ禍も3年目に突入した今、皆さんだいたい慣れてきたご様子ですが、とはいえまだ不慣れさ、もどかしさを感じているという方も少なくないでしょう。

残念ながら、少なからずそういったケースもあったでしょう。会食などを通じたコミュニケーションは、信頼関係を築くにあたって非常に有効な手段であることに変わりありません。

ただ一方で、コロナ禍をきっかけに

オンラインコミュニケーションツール、例えばFacebookなどのSNSを使い始めたことで、取引先や経営者仲間との絆が深められたというケースもあります。

私が所属している墨田区の商工会

空けず次々に商談や打ち合わせができますから、1日5件、10件と、やろうと思えばできてしまう。

しかしここがオンライン会議の難しいところなのですが、自分が思う以上に疲労が蓄積しやすいものなのです。というのも、中小企業の経営者ともなると、相手の顔色を読み取りながら話をするのはあまり苦にならない方が多いですが、オンラインだとそれがなかなかうまくいかず、目に見えないストレスがたまっていくというわけです。

▼取引先や経営者仲間とリアルに交流する機会が減ったことで、つながりが希薄になったということはありませんか。

さらに画面越しだと、なんとなく相手が遠くにいる感じがするため、普段より声が大きくなってしまうこともあるようです。私も家族から何度も指摘されました。声を張り上げて一生懸命話してしまうせいで、終わったあとぐったりすることもよくありました。

コラム 久米流 オンライン商談の活用法

オンライン会議に慣れている久米氏に、オンラインにおける商談で押さえておきたいポイントを聞いた。ここでは3つ紹介しよう。

①録画機能

オンライン会議ツールには、録画機能が付いていることがほとんどだ。相手の許可を取ったうえで、録画しておくことをおすすめする。後から商談の内容を振り返るのに役立つのはもちろん、若手社員に録画内容を見せることで研修ツールにもなるからだ。

②商談後の内容共有

商談が終わったら、お礼を兼ねて「先ほどの会議のポイントを簡単にまとめてみました。これでよろしいですか」とメールを送り、確認しておく。そうすることで行き違いがなくなるうえ、仕事のやり方としてもスマートだ。

③OJTとして活用

オンラインならば、商談に複数の従業員を参加させることができる。これまでは「時間も交通費もかかるから」と、同行者の人数を絞っていた企業も多いのではないかな。しかしオンラインなら、どんな遠隔地の取引先であっても、手軽に立ち合わせることができる。経営者の言葉に相手がどんな反応をしたか、経営者はそれにどう答えたかなど、商談の内容をリアルに見せることは格好のOJTになる。

【中小企業経営者の働き方改革】

「経営者の働き方改革」というと、非常に難易度の高い取り組みのように感じる方もおられるだろう。しかし実際のところは、日々の業務に少しずつ新しい視点、新しいツールを加えていくという地道な業務改善に尽きる。以下、中小企業経営者のための働き方改革のフローを例示するので、試せるところから実行していただきたい。

課題を明確化する

- ・実務に追われ、経営者の本分(経営判断や取引先との交渉業務主体)に注力できない
- ・長時間労働になりがちで十分な休息がとれない

方法を考える

- ・移動時間を削減する → 「オンライン会議」や「在宅勤務・シェアオフィス」の活用
- ・業務を効率化する → ITツールを取り入れ、日常業務の効率化を図る
(クラウド会計ソフト、スケジュール共有ソフト、ビジネスチャットツールなど)

効果

- ・経営者の本分に注力できるようになる
- ・余暇に家族との団らんや趣味を楽しむことで、新たな発想が生まれやすくなる
- ・経営者が率先して効率的な働き方を取り入れることで、従業員の業務効率化への意識が高まる



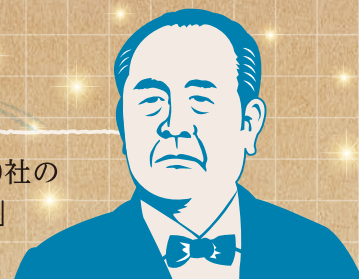
【大同生命サーベイ調査結果のポイント②】「短くなった」理由として、「売り上げが低下(事業が縮小)したため」が52%と最も多く、次いで「緊急事態宣言等で出勤抑制や勤務時間を短縮する必要があったため」が36%でした。一方で「働き方改革(残業削減・在宅勤務の導入等)」は25%に留まっており、経営者の働き方改革は道半ばと考えられます。



【大同生命サーベイ調査結果のポイント①】

経営者の「1日の平均労働時間」は、「8時間」(37%)が最も多くなりました。コロナ禍前と比べ、「経営者の総労働時間が変わった」と回答した企業は全体の30%で、「短くなった」が22%、「長くなった」が8%でした。

Essence「論語と算盤」



渋沢栄一

渋沢栄一 といえば、明治維新後の新政府に仕えたのち、第一国立銀行をはじめ約500社の企業の創立および発展に貢献した日本の企業の先駆者であり、「日本の資本主義の父」といわれる人物。彼の思想をまとめた講演集『論語と算盤』は大正期の1916年に出版されたものながら、今なお多くの経営者や指導者の愛読書となっています。混迷の時代の今こそ、『論語と算盤』から経営のヒントを学んでいきましょう。

—Vol.23—

信じた道を猛進し
失敗を恐れるな

（「立志と学問」の章より）

◆日々新たな気力で前進する

中国の殷王朝の初代君主・湯王が毎日使う盥に刻んでいた言葉があります。「まことに日に新たななり、日に日に新たにして、また日に新たななり」。澆刺とした気持ちにまた新たな気力を自然に生み出し、それにより日々新鋭の活動ができるという意味です。

それは、明治維新にもある「維新」という言葉の意味にも通じます。大いに覚悟を決めて皆が心を一つにして前進することを表す維新は、保守的な時代にこそ一層必要であり、奮闘努力をすべきだと思えます。

新政権を確立し、数多の革新を実現し、近代化を推進した明治維新に尽力した人々の勇氣と情熱は並大抵ではなかったと言えるでしょう。明治維新以来の事業には失敗したものもありましたが、多くはパワーと粘り強さで発展してきたのです。

◆何もしないリスクより挑戦する勇氣を

青年時代は、血気時代です。その血気を良い方に活用し、年齢を重ねると共に何かと守りに入りがちな人たちが危険を感じるくらい精力的に活動して欲しいと期待します。失敗を恐れているようでは、到底見込みのないものです。自分が正義と信じたなら、果敢に立ち向かっていき、岩をも通す鉄石心をもつてすればできないことはないという意気込みで進まなければなりません。

たとえ失敗があっても、それは自分の注意が足りなかっただけで、むしろ多くの教訓が得られるはず。それが強い意志と自信を生み出し、勇氣を持つて猛進でき、やがて世の中に役立ち信頼される人物になっていくのです。

何もしなければ日本の前途は憂える結果になってしまうと考え、将来後悔しないように活力を発揮して欲しいと願います。ただ、普通より多少抜きん出ているくらいでは、とても大勢を動かすことはできません。大勇猛心、何事にもひるまない勇氣と熱い心を持つて、前進することが重要なのです。



【監修】
渋澤 健
Ken Shibusawa

1961年生まれ。渋沢栄一の玄孫。テキサス大学卒業。JPモルガン、ゴールドマン・サックスなど米系投資銀行でのマーケット業務、大手ヘッジファンドを経て、2001年に独立。'08年コモンズ投信株式会社を創業し、現在は取締役会長。講演、セミナー、著書多数。

川島の複眼思考

—本稿のまとめとして—

久米さんは、中小企業で働き方改革が進むかどうかは、経営者が新しいITツールを使いこなしてその便利さを実感しているかどうかにかかっていると言う。

中小企業にとりてありがたいのは、代表的なITツールは無料ないし格安で使えることだ。例えば「Zoom」というビデオ会議ツールの場合、1対1の打ち合わせなら時間無制限、3人以上100人以下の会議なら40分まで無料で使用できる。制限時間内で会議を終えるようにすれば、効率化も図れるだろう。

スマホに搭載されている音声文字変換機能も使い勝手がよくなった。以前は誤変換が多かったが、今はかなり精度が上がっている。不慣れな人でもメールを送るハードルが下がり、コミュニケーションを倍化させる技術になっている。メモを取るにも、非常に便利だ。

IT技術は日々進歩している。経営者がスマホやパソコンは苦手だと遠ざけていては、もったいない。できることから挑戦し、新たな一歩を踏み出そう。（睦）

特集記事

「渋沢栄一と広岡浅子」より

第1回 資料から見る 渋沢と浅子

日本最初の女子高等教育機関の設立を志していた成瀬仁蔵に、最初に支援したメンバーの一人だった浅子は、1897年、日本女子大学校設立の第一回發起人会議で渋沢とともに創立委員に任命されました。これが、資料上確認できる渋沢と浅子の最初の対面となりました。

二人はこの後も、創立委員会度々顔を合わせ、開校後も評議員として日本女子大学校の運営に関わり続け、卒業式や記念式典などで会しています。

日本の近代経済の基礎を築いた偉大な実業家と、近代日本を代表する女性実業家は、現在の女性活躍社会につながる未来を、ともに見据えていたのかも知れません。

この記事の全文は
下記のwebサイト
でお読みいただけます



渋沢栄一と大同生命創業者の一人である広岡浅子は、同時代を生きた実業家同士、日本女子大学校の設立など様々な接点がありました。大同生命では保管されていた貴重な資料などから両者の交流の足跡を紹介しています。ぜひご覧ください。https://kajimaya-asako.daido-life.co.jp/column/



※本稿は2022年4月末現在の情報を基に執筆された原稿です。

でも、SNSを利用するようになった経営者がだいたい増えました。例えば散歩中、公園で梅が咲いているのを見かけたら、スマホでサッと写真を撮り、「満開です」と一言添えて投稿するのです。そんなふうには自分の日常を発信して、互いに「いいね！」し合う文化ができたのですが、これがとてもいい雰囲気なのです。もともと中小企業経営者には、観察力や感受性が鋭い方が多いという印象です。だからこそ、こういった発信ツールは向いているのだらうと思います。

SNSの利点はほかにもあり、手紙やメールには欠かせない「いつもお世話になっております」などの前置きが不要ありません。先ほどの梅の花の写真に対しては、「きれいですね」「お写真がお上手ですね」など、シンプルなコメントをつけるだけでいい。そんなところも、対面ができなくなった不自由な状況の中でも関係性を深める一つの助けになっているといえるでしょう。

私の周りでも、70代の経営者の方

がその手軽さに気が付かれ、日々スマホを持ち歩かれて、毎日熱心に投稿されています。周りの方も投稿をご覧になるのが日課になり、コミュニケーションの活性化につながっているようです。

▼ITツールやSNSをうまく使えば、業務を効率化できるだけでなく、人的ネットワークを広げることもできるということですね。

おっしゃるとおりです。もともと経営者は年中無休、24時間体制で、忙しくなさっている方が多いはず。営業や仕入れなど、社内のあらゆる業務を担い、雑務までこなしているという経営者も珍しくありません。従業員に深夜残業や休日出勤を頼むこともできず、ついつい自分が動いてしまおうという場面も多いでしょう。だからこそ使えるものは使って、少しでも時間や体力にゆとりを生み出していくことが大切です。

ITツールに苦手意識がある経営者もいらつしやることと思いますが、若手社員やご家族に教わったり、経営者同士で教え合ったりしながら、徐々にでもやり方を身につけていくと、得られるものは大きいはずです。自治体にもありますが、商工会議所などはITツールの使い方セミナーを開催することもあります。ぜひチェックしてみてください。

クしてみてください。

▼コロナ禍は、経営者自身が時間の使い方、働き方自体を見直すきっかけになったともいえそうです。

一部企業において導入が進んだ在宅勤務も、経営者自身の働き方改革に役買っていますね。

出社勤務の場合、従業員が2、3名でもいれば、出社した以上はなるべく朝から晩まで社内になければという気持ちになりがちです。外出する際も、行き先をホワイトボードなどに書く必要がありました。

しかし在宅勤務であれば、ある程度は自分のペースで働くことができるので、例えば「会議と会議の合間に、自宅周りを軽くウォーキングする」「休日に働く代わりに、平日に休みを取る」といったことも可能です。

そうしてうまく時間をやりくりすることで、気分転換や運動不足の解消を図っておられた経営者がたくさんいました。これまでやりたくてもできなかった趣味やボランティアに励むようになった方もいます。

「仕事以外」の時間を充実させることは、自分自身の信念や哲学を見つめ直すいい機会にもなります。それが経営者の働き方改革の成果であり、必ず今後の経営に活かされてくるはず。■

「大同生命サーベイ」の月次レポートは、当社のWebサイトからご覧いただけます。どうぞご利用ください。(https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/)





従業員とともに成長する企業でありたい。

三進金属工業株式会社(大阪府忠岡町)

今年3月、経済産業省から「健康経営優良法人2022」の認定を受けた中小規模法人は12,255法人。その上位500法人「ブライト500」に認定された三進金属工業の新井宏昌社長にお話を伺いました。



「健康経営優良法人の認定を受けたこと、その中でも『ブライト500』に選ばれたことには驚きもありました。それ以上に『創業から続く経営姿勢に間違いはなかった』とお墨付きをいただいたようで、本当に嬉しかったですね」

新井社長が「創業から続く」と語るのには理由があります。三進金属工業が経済産業省の「健康経営」の制度に参加しようと手を挙げたのは約2年前のこと。以前から従業員ののために実践してきたことを申請フォームに当てはめたただけで、特別なことをしたという意識がないためです。

「58年前に現会長が創業した、たった3人の町工場の時代から、人を大切にするのが当社の基本姿勢でした。お客さまはもちろん、協力会社の方々と従業員、全ての人の関わりを、目先の利益よりも重視してきたのです。高度経済成長やオイルショック、バブル経済、リーマンショックなど、時代が変遷してもその姿勢に変化

はなく、その延長線上に『従業員の健康』があつたのも当然かもしれません」

現在、三進金属工業は大阪と福島に工場を構え、約650人の従業員が従事する国内有数の「空間創造企業」と成長を遂げています。

「当社の主力製品はスチールラックです。ご家庭やオフィスで使用されるラック類はもとより、図書館用の書架、物流拠点に用いられるトン単位まで耐えられる重量ラックや電動式移動ラックなど、絶えず新製品を開発してきたことで、業界のリーディングカンパニーとまで呼んでいただけるようになりました。また、お客さまの空間をどのように構成すれば効率化が図れるか、快適性が増すか、そのようなオーダーメイドのご提案までできるようなりました」

これまでにグッドデザイン賞を8度受賞するなど、三進金属工業の創造性や技術力は業界内外から高く評価されているのですが、それも「従業員が成長した結果の一つ」と新井社長は言います。その人との関わり、人とのつながりを大切にしてきた結果は、広範な事業範囲にも表れています。

「企業の成長は、従業員の成長なくしてありえません。大小関係なく一つ一つの案件で、従業員が『どうすれば喜んでいただけるか』と頑張つてき

そして果樹園をつくり、緑正館という名のコミュニティセンターをつくり、雇用以外の地域貢献の方策を模索してきました」

この福島工場は2014年に「緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞。授賞式に出席した新井社長は、会長とともに天皇皇后陛下(当時)からお言葉をいただいたと言います。

「工場の緑化は『休憩時間に緑が目に入れば、従業員のストレスを少しでも癒やせるのではないかと始めたことでした。その結果、両陛下にお目にかかれるなんて、想像もできませんでした。思い出すだけで、身の引き締まる思いになります」

その後、三進金属工業は子会社としてサンシン夢ファームを設立。後継者がいなくなった平田村の農地を受け継ぎ、米や野菜を育て始めます。

「今、当社の社員食堂では、ほとんど自給自足の『安心・安全食材』で食事を提供しています。また、調理も外部委託せず、プロの料理人を直接雇用することで、ベトナムからの技能実習生の口にも合うように、きめ細やかな配慮がなされています。食は健康の基本。健康は成長の源。そこから人づくりを考えていくことは、コストはかかりますが、それ以上の価値があると思います」

■ 中小企業経営の現状分析に「大同生命サーベイ」をお役立てください！ ■



大同生命に所属する全国約3,700名の営業職員は、日々様々な業種・業態の中小企業経営者と触れ合っています。そこで見聞きするのは**現場のリアルな声**であり**時代の生の声**です。そのような声を共有し、経営の参考にさせていただこうと開始した調査が「大同生命サーベイ」です。



大同生命では、創業120周年を迎える2022年度を「健康経営の本格普及元年」と位置付け、健康経営に関する各種情報提供やイベント・セミナーの開催などを通じ、日本を支える中小企業における健康経営の普及に一層取り組んでまいります。



創業者である新井正準会長(写真左)と新井宏昌社長。

大同生命サーベイ2021年9月度調査「健康経営」にご回答いただいた企業の中から、健康経営に取り組まれている企業さまにインタビューしました！



企業 DATA

所在地	大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目5番20号
代表者	代表取締役社長 新井宏昌
創業	1964年(昭和39年)
事業内容	物流保管機器、植物工場・実験/研究設備、建築・構造物製品の開発・設計・製造・販売・設置・メンテナンス等
Webサイト	https://www.sanshinkinzo.co.jp/

カルテの余白

渡辺 俊一

手術の成功がゴールではない。
社会復帰させるまでが治療なのだ。

日本人の死因第1位であるがん。その中でも最も死亡者数の多いのは肺がんである*。
肺がんはなぜ「治療が難しい」とされるのか。国立がん研究センター中央病院の呼吸器外科を率いる
渡辺俊一医師にお話を伺った。

「肺がんの手術は難易度が高い。それは間違いありません。その理由の一つは、心臓から肺へと血液を送る太い血管（肺動脈）の壁が薄いことにあります。『なぜ神さまは、こんなにも重要な血管を脆くしたのか』と恨めしく思えるほどに薄く、ほんの少しでも手元が狂っただけで、患者さんの命を危険にさらしてしまう可能性があるのです」

これまでに5千件以上の肺がん手術を執刀してきた渡辺俊一医師はそう語る。

「心臓から肺へ、太い肺動脈幹から左右の肺動脈、細い末梢血管へと枝分かれしていて、手術ではこれらの血管を丁寧に剥離（はく）していかねければなりません。血管を縛ったり、切ったりして、切除しようとする肺を心臓から分離させるのです。この手技が非常に繊細で、肺動脈には毎分数リットルもの多量の血液が流れていますから、万一裂けたりすると、ものすごい出血量で、患者さんは数分で死に至ります」

どれだけ経験ある外科医でも、肺動脈の血管処理だけは慣れることが

なく、少しでも出血したときは背筋が凍るという。

「私も過去に、手術の終盤で突然、血管が裂けて出血させてしまったことがありました。あつという間に患部が血の海になって、どこから出血しているのかも分からなくなってしまう。とっさに直接手を突っ込んで血管を探り、指で出血を止められたのですが、かなり危機的な状態でした」

このような大出血に対処できず、自信を失って呼吸器外科を辞めてしまふ医師も少なくないのだという。

国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科長

渡辺 俊一 Shunichi Watanabe

1990年、金沢大学医学部卒業後、同大学第一外科に入局。2000年、ロンドン・Royal Brompton病院へ臨床留学。'02年より国立がん研究センター中央病院に勤務。'15年、現職に就任。日本胸部外科学会指導医・評議員、日本外科学会外科専門医・指導医、日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医・指導医・評議員、日本肺癌学会理事、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・気管支鏡指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医。

「外科系の手術の中でも、特に肺の手術は『常に術中死のリスクを内包している』といえるのかもしれませんが。幸い当院は、これまでに出血多量で術中死させてしまったケースは一例もありませんが、たまにそうした新聞報道などを目にとると『明日は我が身』と気が引き締められます」

がんの進行度にかかわらず、肺がんの手術には常にリスクが伴う。それだけに毎回過大な精神的ストレスがかかるのだが、渡辺医師はそれ以上のやりがいを感じているという。

「リスクを回避して安全性を維持できるかどうかの分かれ目は、いざ出血したときのリカバリーの一手を的確に打てるかどうかです。もし出血したら、心臓に近いうちで血管を遮断（クランプ）し、血を堰き止めないといけないのですが、血が出た状態で心臓の周りの血管を剥離していくのはかなり難しい技術になります。そうした技術をきちんと習得し、このリカバリーで失敗しないというのが当院の強みかもしれません。もちろん、かつての主流であった開胸手術を数多く経験しているベテラン医師なら、こうした止血方法を知っています。しかし今後は『胸腔鏡下手術しか知らない』という医師が中心になっていくでしょう。血管を剥離する『過去の技術』を経験していない医師が、いざ大出血し

たときに冷静に対処できるのか…。医療技術や機器の進化は素晴らしいことですが、医師の“手”の退化を非常に懸念しています」

渡辺医師のような臨床の最前線に立つ医師たちからの声もあり、日本呼吸器外科学会では2021年から胸腔鏡安全技術認定制度を開始した。消化器など他科の内視鏡医認定とは異なり、安全に血管処理ができる基本技術を認定しようというのだ。



「進行がんの手術でも、全ての技術は基本的な手技の積み重ねです。だからこそ当院では、どんなに簡単な手術でも、しっかりと血管を剥離するといった“基本”を重視して、一つ一つの手術を行なっています」

国立がん研究センター中央病院には、他院で手術を断られた進行がんの患者が頼る“最後の砦”として、難しい症例の患者が全国から訪れる。それだけに、厳しい状況におかれることによつて外科医の手技も向上し、出血や合併症に対処するための引き出

しも増えるのだと渡辺医師はいう。

「特に肺がんの手術は、症例数が多い施設ほど合併症や死亡の確率が低くなる。術後の経過も“手術の質”によつて格段に変わりますから、もし肺がんになったら、手術件数が一定以上の施設を選ぶということが、一つの目安になると思います。ただ、同じ100件でも1〜2人でやっている施設と7〜8人でやっている施設では意味が違いますから、一人当たりの経験数を判断基準にするようにしてください」

また現在は、外科だけでがんを治す時代ではない。化学療法・放射線治療・外科手術の三本柱を組み合わせて総合的に治療する「集学的治療」が主流だ。がんとの闘いは長期戦になるため、術後の経過やその後の再発にも備えて、化学療法に長けた腫瘍内科医や放射線治療専門医など、各分野のエキスパートが揃っている総合力のある病院を選ぶことが重要だと渡辺医師は付け加える。

「私は外科医として『術後も患者さんをきちんと診る』ということを大切にしてきました。肺の手術は、出血や感染などの合併症や縫合不全など、ちょっとした異変を見逃すと一夜にして取り返しがつかない状態に変わってしまうこともあるからです。もち

ろん自分一人の力だけでは不可能ですから、チームの力が必要です。合併症をゼロにすることはできませんが、専門医が1日に何回も回診すること、いち早く異変に気づいて対処することはできます」

外科医にとつてがん治療は「手術が成功したら終わり」では決していない。術後もしっかりと診て、社会復帰してもらうまでが治療なのだ。そのために渡辺医師は、ほとんど毎日、手術室と外来の診察室を往復する。そして「勉強し続けなければ患者さんに失礼だから」と、まるで研修医のように今も学びを続けているという。

「休みの日でも、術後の患者さんの状態が気になって仕方ありません。気の休まる日がないといつても過言ではないのですが、術後の患者さんが気にならないようならメスを置くべきだと思っています。非常勤でいろいろな病院を回っていた若い頃は、自分が手術した患者さんでも1〜2年しか診られず、その後の経過が分かりませんでした。しかし当院に来てからの20年は、長期戦を闘う患者さんに、ずっと寄り添えるようになりました。手術を成功させることはもちろん嬉しい。ですが再発との闘いを経て、5年後、10年後、患者さんに『そろそろ卒業です』といえるときが、私にとって最大の喜びなのです」



ゆるやかなカーブを描く刃に注目。この特殊な形状により、むいた皮が貼り付かずスルリと落ちてくれます。



世界で累計約40万個を売り上げ、受賞も多数。その実用性の高さから、一流レストランのシェフも愛用しているといえます。

サイズ：全長…約40mm、幅…約63mm、刃長…約50mm
重さ：16.5g
材質：刃…ステンレス刃物鋼、本体…PBT樹脂
カラー：レッド、ホワイト、グリーン、ブラック
価格：1,320円(税込)

株式会社スズキ

代表取締役 鈴木康之(すずき・やすゆき)
所在地 大阪府大阪市西淀川区佃5-8-5
Webサイト <https://clamclub.shop-pro.jp/>
お問い合わせ 06-6475-8401

匠の結晶

2021年度グッドデザイン賞
ピールアピール
ベジタブルユニークピーラー

photo:Yoshinobu Kose

「おうち時間」が増えたことで、料理をする機会も増加傾向。その影響で、キッチン用品にこだわる方も増えていくのではないだろうか。そこでおすすめなのが『ピールアピール ベジタブルユニークピーラー』です。

一見してわかるとおり、一般的なピーラーと大きく異なるのが、持ち手(ハンドル)がないこと。手のひらサイズの洗練された美しいフォルムは、「握る」というより「つまむ」ようにして作業することができます。食材と手の距離が近くなるため、まるで「手で皮をむいている」ような感覚。小回りがきき、力の加減やコントロールも容易なので、握力があまり強くないお子さんや高齢の方でも安心して使えます。

もう一つのポイントが、くると約180度にカーブした独自設計の刃。この特殊な形状が食材との抵抗を小

さくするとともに、むいた皮がピーラーに貼り付くのを防いでスムーズな作業を実現します。さらに、刃そのものも精密に研磨されており、切れ味抜群。これらの相乗効果により、そつと滑らせるだけで皮をとらえ、引っかかることなくスルスルむけると同時に、むいた皮がスルリと離れて手元に落ちてくれるのです。

考案・設計したデザイナーのイワン・ラサ氏が「他にはない」と語るように、唯一無二のデザイン性を具現化しながらも、そのみに走らず、ツールとしての機能の高さも徹底追求。そこには、ピーラーに特化したメーカーならではの技と真摯な想いが詰め込まれています。

一度使えば、皮がきれいにむけていく感動に手放せなくなることに必至。料理の楽しさを一段と加速させてくれる逸品です。

持ち手のないフォルム×特殊形状の刃で
素材の皮が「スルリ」とむけるピーラー。



PRESENT
今月のプレゼント

ピールアピール
ベジタブル
ユニークピーラー

を抽選で
10名様にプレゼント!

※色はレッドとなります。

ご希望の方は、アンケート・プレゼント応募フォームよりご応募ください。締切は2022年7月10日です。当選者の方には、裏表紙に記載の担当者よりプレゼントを持参させていただきます。
https://ma-dodai.daido-life.co.jp/survey_2206.html



中小機構
経営の
ヒント

ビジネス
マッチング編

事業を切り開くためにベストな ビジネスパートナーとの出会いを!

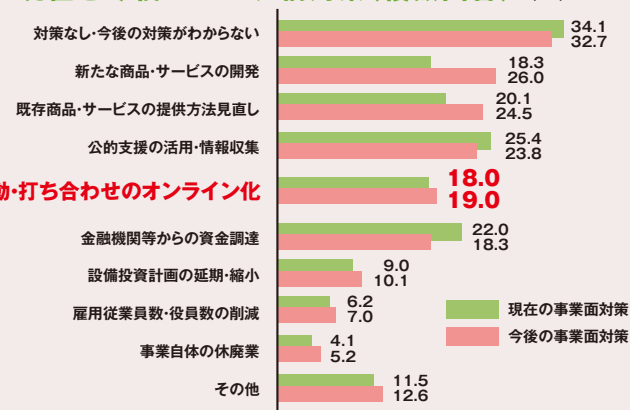
コロナ禍で対面での営業活動ができないなど、
中小企業を取り巻く経営環境が大きく変化する中で、
営業活動・打ち合わせのオンライン化が加速しています。

『J-GoodTech(ジェグテック)』は、日本の中小企業と、
国内外の企業をつなぐBtoBマッチングサイト。

「新規顧客へのアプローチ」や「商品・サービスのPR」
といった販路開拓の課題を、オンラインの
マッチングサイトを活用して、解決しませんか。

最適なパートナーと出会うために、ぜひご活用ください。

現在と今後のコロナ禍対策(複数回答)(%)



[出典] 中小機構 新型コロナウイルス感染症の中小・小規模企業影響調査 (2020年7月度実施)

中小機構のマッチングサイト『J-GoodTech(ジェグテック)』をご活用ください!

『ジェグテック』とは?

中小機構が運営する、販路開拓に意欲的な中小企業と、
国内大手企業(メーカー、商社など)や海外企業をつなぐ
無料^{※1}のBtoBマッチングサイト。国内中小企業約
21,000社、国内大手企業約700社、海外企業約7,800
社にご活用^{※2}いただいています。

※1: 利用には審査・登録が必要です。 ※2: 2022年2月時点



マッチング実績25,000件以上!

ジェグテック

J-GoodTech

ご登録はこちら
<https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/>



ご利用のポイント

幅広い業種の企業が
多数登録

登録されているのは、
中小機構や自治体など
が推薦した多種多様な
優良企業ばかり。



利用料無料

『ジェグテック』の
サービスはすべて
無料でご活用いた
だけます。

¥0
FREE

中小機構のアドバイザー
によるサポート

中小機構のアドバイザー
が専門知識を活かし、登
録企業とのマッチングに
向けてサポートします。



『ジェグテック』の4つの機能

ニーズ機能

共同開発、販売連携などの
受発注を支援し、新たな取
引先開拓につなげます。

自社アピール

公的機関が運営する『ジェグ
テック』サイト内の自社ペー
ジでアピールできます。

企業検索／製品検索

製品・技術・サービスなどの
情報を検索し、最適なビジネ
スパートナーと出会うこと
ができます。

トピックス

会員企業間で最新情報の
告知やアイデアの交換が
できます。

More info

中小機構
をご活用ください!



経営に
役立つ
情報が満載

経営上のお悩みの解決に、中小機構をご活用ください。

公的機関の支援情報を中心に、経営に関するQ&Aや
数多くの企業事例などを簡単に調べることができます。

J-Net21 検索

<https://j-net21.smrj.go.jp/>



社長が声をかけあうサイト。

どうだい？

dodai.daido-life.co.jp

はじまっています。



onehour ワン・アワー 6月号 ■ 2022年6月1日発行 ■ 発行／大同生命保険株式会社 ■ 発行部数／217,000部 ■ 企画・制作／株式会社アイズ

■お届けしたのは…

DAIDO 大同生命保険株式会社

お問い合わせ先

大同生命コールセンター

0120-789-501 (通話料無料)

受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

■契約内容のご照会・見直し ■資金のご用立て・お引出し
■各種変更

※プライバシー保護のため、お問い合わせは**契約者ご本人**または**ご家族登録制度に登録されたご家族**よりお願いいたします。

■大同生命ホームページアドレス <https://www.daido-life.co.jp/>

■本誌に掲載の各記事は各発言者・筆者等の見解です。

■本誌に関するお問い合わせは業務部までお願いします。TEL.03-3272-6140

大同コード



※本誌掲載記事・写真の無断複写(コピー)・複製・転載を禁じます。